

■インストール時のご注意

すべてのアプリケーションを終了してから、本インストーラを実行してください。リアルタイムのウィルス監視機能が動作している場合は、一時的に停止することをお勧めします。また、Administrator、または管理者権限のあるユーザでログオンしてから実行してください。

■修正内容

[201905:SP18]

(作図機能)

- ・ Alfatech製品の共通モジュールの更新

[201904:SP17]

(作図機能)

- ・ Alfatech製品の共通モジュールの更新

[201904:SP16]

(作図機能)

- ・ Windows 10 でお使いの場合において、環境設定の設定内容が初期値に変わることがある問題を修正しました。
(補足)
環境内の設定ファイルの内容を %temp% 以下に一時保存しないで、メモリにキャッシュするように動作仕様を変更しました (Windows 10対応)。
- ・ 溶接記号で「表面形状」と「仕上げ方法」を設定した場合、くつついて表示されるものがある問題を修正しました。
- ・ [BJ-M 環境設定] の [その他]-[C面取り寸法]において、“画層を指定”を選択し、任意の画層名での登録ができない問題を修正しました。

[201812:SP15]

- ・ Alfatech製品の共通モジュールの更新

[201810:SP14]

(作図機能)

- ・ 古い BricsCAD の対応のために Alfatech製品用に定義していた 0 コマンド、1 コマンドを廃止しました。

[201808:SP13]

(作図機能)

- ・ [仕上げ記号]において、回転角度の情報も設定ファイルに書き出すように修正しました。
- ・ [溶接記号]において、いくつかの項目が設定ファイルに書き込まれない問題を修正しました。
- ・ [溶接表示]において、[すみ肉溶接(正面図)]での作図操作でフェイタルエラーが発生することがある問題を修正しました。
- ・ 異尺画層へ移動した図形に対して [四辺一括入力]コマンドを実行した場合、異尺のスケールを参照しないで寸法が入力されることがある問題を修正しました。
- ・ [BJツール]-[補助線]-[オフセット]に“構築線で作画”という項目を追加しました。
- ・ ベースCAD のテンプレート設定が勝手に変わることがある問題を修正しました。
- ・ メニューバーの非表示ができない問題を修正しました。

[201804:SP12]

(作図機能)

- ・ [溶接記号]において、操作によっては仕上げ方法の選択ができないことがある問題を修正しました。

- ・ [補助線]-[角度線入力]において、ポリラインが角度を参照する対象外になっている問題を修正しました。
- ・ [繰り返しの編集]-[回転]において、ベースCAD が BricsCAD V17.2 の場合のみ、回転角度を数字入力しても回転しない問題を修正しました。

[201802:SP11]

(作図機能)

- ・ 図枠転記で0.6倍の尺度が反映されることがある問題を修正しました。
- ・ [BJファイル]-[表題・尺度・図枠変更]から図枠の変更ダイアログを表示し、図枠名の欄のクリックによるソート操作を行うと、CAD が強制終了することがある問題を修正しました。

(管理ツール)

- ・ [場所の確認と変更]において、変更元フォルダに大量のファイルが存在する場合、変更先の適用に時間が掛かる問題を修正しました。

[201711:SP10]

(作図機能)

- ・ ベースCAD が BricsCAD の場合、[BJツール]-[補助線]-[オフセット]において、マイナス値での実行ができる問題を修正しました。

[201710:SP9]

(作図機能)

- ・ [属性移動]において、ベースCAD が AutoCAD 2016 以下の場合にフェイタルエラーが発生する問題を修正しました。
- ・ [文字入力]の“配列複写”において、入力可能な行数、または列数の欄が“0”の場合は OK ボタンが押せないように修正しました。
- ・ [文字列編集]において、窓選択する際に PAN(画面移動)による移動を行うと、画面に表示されない文字列が選択から除外される問題を修正しました。
- ・ ベースCAD が AutoCAD の場合において、プログラム側でズーム処理を行った時に TARGET システム変数を変更する問題を修正しました。
- ・ ベースCAD が BricsCAD の場合において、非表示にしたツールバーが起動時に再表示されることがある問題を修正しました。
- ・ ベースCAD が BricsCAD の場合において、ワークスペースを切り替えて、CAD の再起動後、メニューバーの末尾に同じ項目が 2つ表示されることがある問題を修正しました。

[201707:SP8]

(作図機能)

- ・ 図面内に大量のポリラインがある場合、保存に時間がかかることがある問題を修正しました。

[201706:SP7]

SP7 にて、BricsCAD V17.2.06(32bit/64bit)以降に対応しました。

今回の対応により、BricsCAD V17.2.04 に対して動作しなくなりました。

これは、BricsCAD V17.2.06 からの内部仕様変更によるものです。

(作図機能)

- ・ [記号]-[幾何公差]にて幾何公差を作画し、作画した幾何公差をダブルクリックにて変更操作を行うと、配置画層が作画時の画層から 0画層に変わることがある問題を修正しました。
- ・ 環境設定の“記号”で指定した寸法スタイルで [記号]-[データム]の実行によるデータムが作画されるが、ダブルクリックによる編集を行うと、矢印形状が“閉”に変わってしまうことがある問題を修正しました。
- ・ [BJツール]-[表作成・編集]-[文字列長自動短縮]において、補助線など関係ない線分が含まれている場合にエラーや、正しく認識しないことがある問題を修正しました。

[201704:SP6]

SP6 にて、BricsCAD V17.2(32bit/64bit)に対応しました。

(作図機能)

- ・ [記号]-[溶接記号]において、“溶接の溝の深さ”などに入力した値が

配置した溶接記号に反映されないことがある問題を修正しました。

- ・ 図面サイズが大きい場合において、複写などのコマンドの動作が遅くなる問題への改良を行いました。

[201702:SP5]

(管理ツール)

- ・ スタンドアロンライセンスにおいて、[ライセンス形式の設定]からアクティベート解除する際、プロキシ設定にユーザ名とパスワードが登録されている場合、解除に失敗することがある問題を修正しました。

[201701:SP4]

- ・ BricsCADの設定の「2Dグラフィックシステムデバイス」が [3]GDI の場合、溶接記号を連続で入力すると、ズーム操作が出来なくなる問題を修正しました。
- ・ 各種記号作図において、カレント画層がロックされている場合に、エラーになる問題を修正しました。
- ・ [溶接記号]において、溶接記号(上側)で“レ形開先”、“レ形フレア溶接”を選択しての作画を実行した場合にフェイタルエラーが発生することがある問題を修正しました。
- ・ [文字列編集]において、半角の“1”の1文字だけを“行・列で編集”が有効状態で選択した際、半角英数字用の指定フォントによっては、選択文字列の取得に失敗して、編集ダイアログに表示できないことがある問題を修正しました。

[201611:SP3]

SP3 にて、BricsCAD V17.1 (32bit/64bit)に対応しました。

- ・ 文字列編集において、編集モードの「行・列で編集」がチェックオフで窓選択した際の表示順が逆になっている問題を修正しました。

[201610:SP2]

- ・ ベースCAD が BricsCAD の場合において、開くファイルのサイズが比較的に大きめな場合、編集中に動作が停止することがある問題を修正しました。
- ・ [BJファイル]-[表題・尺度・図枠変更]の実行後に保存を行うように修正しました。
- ・ [溶接記号]において、すみ肉下側左の記号が離れた場所に配置される問題を修正しました。
- ・ [溶接記号]において、以下を追加しました。
肉盛溶接、V形フレア溶接、レ形フレア溶接、へり溶接、キーホール溶接、スカーフ継手、スタッド溶接、基線上のスポット溶接、基線上のシーム溶接、サーフェス継手
- ・ [JIS寸法]-[寸法プロパティ変更]において、矢印形状として“塗り潰し矢印”を選択し、変更対象を指示しても適用されない問題を修正しました。
- ・ [文字列編集]において、複数の MTEXT のみを選択した場合にエラーが発生することがある問題を修正しました。
- ・ [BJツール]-[環境設定]の各種記号の画層を選択する一覧において、画層名でソート表示するように改善しました。

[201608:SP1]

- ・ [図枠作成・編集]で、図枠登録を行った際、ベースCAD が AutoCAD の場合にエラーになる問題を修正しました。
- ・ [記号]-[溶接記号]において、溶接の基本記号(下側)として“肉盛”を選択した際、入力した値が図面上に反映されない問題を修正しました。
- ・ [バルーン部品表]-[バルーン表リンク設定]を実行した際、図面上のバルーンシンボル内属性が消えることがある問題を修正しました。
- ・ [JIS寸法]-[C面取り寸法入力]において、ポリラインが対象として認識しない問題を修正しました。
- ・ [JIS寸法]-[はめあい寸法]において、“公差に()をつける”という項目を追加しました。
- ・ ベースCAD が AutoCAD 2016 以降の場合、初回起動(プロファイルの作成)時のみ、[スタート]タブを表示しないように改良しました。
※ STARTMODE=0 を設定します。
既存プロファイルに対しては、設定の変更は行いません。
この改良は、手直し奉行などのスクリプト処理が進まないの対応です。

既存環境に対しては、手動でシステム変数の STARTMODE を “0” に変更してください。

ご不明な点につきましては、弊社サポートまでご連絡ください。
宜しくお願い致します。

図研アルファテック株式会社
(E-mail support@bj-soft.jp)
<http://www.bj-soft.jp/>